



らぶっく La・BOOK

3月号
No.57

明科「ひまわり」お楽しみ企画 チェロとピアノのコンサート & 劇「北風と太陽」



明科図書館では、子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」の学習館・児童館と共同で、コンサートと劇のお楽しみ会を開催します。

嘉納雅彦さん・尚代さんご夫妻によるアニメ主題歌や童謡を中心としたチェロとピアノのコンサートと劇団こまねずみの皆さんによる「北風と太陽」の劇を、春休みにぜひお楽しみください。

- ◆日時 平成29年3月22日(水)
午前10時15分～(開場10時)
- ◆場所 明科子どもと大人の交流学習施設
「ひまわり」ハーモニーホール
- ◆申し込み 70名(無料・先着順)
3月7日(火)から電話にて受付
(午前10時～午後5時)

明科図書館 ☎62-1122
明科学習館 ☎62-2001
明科児童館 ☎62-2482



三郷図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

播隆の片腕といわれる「又重・又重郎」 について知りたい



中田又重・又重郎(資料により2通りの呼び方)(1795～1852)は南小倉(安曇野市三郷小倉)に生まれ、幼少時に父を失い母の手で育てられました。体格が良く学問好きで、25歳の頃には村の青年に漢字や習字を教えていたようです。1820年より飛騨との交易や米の販路を考え、岩岡村(松本市梓川)2代目伴次郎と私財をなげうち16年かけて飛州(ひしゅう)新道(岐阜県吉城(よしき)郡と三郷小倉を結ぶ道)を開削しています。

新道開削中の1826年、本家の中田九左衛門より槍ヶ岳開山を念願する播隆を紹介され、播隆5回全ての登山を引き受け、新道を使って道案内をしています。2回目は、播隆を助け山頂に3体の仏像を安置しました(開山)。3回目は、岩屋にこもって衰弱した播隆を助け出し、4回目には、播隆と共に善の綱(登り綱)を槍ヶ岳頂に架けました。その後、綱を鉄鎖に替える仕事を引き受ける等、播隆を助け文字通り「片腕」となって働き、槍ヶ岳開山の偉業を支えました。

<関係資料>

- 『槍ヶ岳開山 播隆』 穂刈三寿雄 穂刈貞雄 1982年
- 『善の綱』 三郷村教育委員会 1997年
- 『三郷村誌 第2巻 歴史編上』 三郷村誌編纂委員会 2006年

※写真 中田又重郎 像 小川大系 作
『剛毅道一筋 小川大系の生涯』 征矢野 久 著
『孜孜(しし)として』 穂高中・穂高町教委 2000より

私と図書館

「青松葉事件」

水野 永一(74)

今、私は島崎藤村著『夜明け前』を調べている。この小説には、名古屋の青松葉事件(1888年尾張藩で発生した佐幕派の弾圧事件)が描かれているが、出典がわからない。

A図書館で調べて貰うと、県外の図書館にある水谷盛光著『明治維新尾張徳川家内紛秘密考説』を探していただいた。相互貸借の希望を出すと、約1ヶ月後に、愛知県立図書館からその本が届いた。約470頁、2段組、昭和56年刊の非売品の本である。

読むと、「朝命」を賜って斬首された3人(渡辺新左衛門、榊原勘解由、石川内蔵允)の出典は大正11年刊の萩野鍊次郎著『尾張の勤王』だと分かった。

早速、この資料を国立国会図書館のデジタルコレクションより印字することができた。一つの疑問が解決した。



2月貸出ランキング

一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 コンビニ人間／村田沙耶香
- 3 去就／今野 敏
- 4 恋のゴンドラ／東野圭吾
- 〃 三鬼／宮部みゆき
- 〃 羊と鋼の森／宮下奈都
- 〃 増山超能力師事務所／誉田哲也
- 8 虚ろな十字架／東野圭吾
- 〃 希望荘／宮部みゆき
- 〃 嫌われる勇氣／岸見一郎 他多数

児童書

- 1 だるまさんの／かがくいひろし
- 2 かいけつゾロリの王子さまになるほうほう／原ゆたか
- 〃 はらぺこあおむし／エリック・カール
- 〃 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 5 いないいないばあ／松谷みよ子
- 〃 サンドイッチサンドイッチ／小西英子
- 〃 すなばば／鈴木のりたけ
- 〃 みずちゃぽん／新井洋行
- 9 おおきくなるっていうことは／中川ひろたか 他

AV資料

- 1 爆笑スーパーライブ第1集!～中高年に愛をこめて.../綾小路きみまろ
- 〃 爆笑スーパーライブ第2集!～ガンバッていただきたいの.../綾小路きみまろ
- 〃 ヒックとドラゴン2/ディーン・デュボア監督
- 4 天晴 ～オールタイム・ベスト～さだまさし/さだまさし
- 〃 WEDNESDAY～LOVE SONG BEST OF YUTAKA OZAKI/岡 豊

2017年本屋大賞/ミネット作!

- ▽西 加奈子『i』（ポプラ社）
- ▽原田 マハ『暗幕のゲルニカ』（新潮社）
- ▽村山 早紀『桜風堂ものがたり』（PHP研究所）
- ▽川口 俊和『コーヒーが冷めないうちに』（サンマーク出版）
- ▽村田沙耶香『コンビニ人間』（文芸春秋）
- ▽小川 糸『ツバキ文具店』（幻冬舎）
- ▽塩田 武士『罪の声』（講談社）
- ▽森 絵都『みかづき』（集英社）
- ▽恩田 陸『蜜蜂と遠雷』（幻冬舎）
- ▽森見登美彦『夜行』（小学館）



編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

中央図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『漱石の愛した絵はがき』

中島国彦・長島裕子／岩波書店



「小生は人に手紙をかく事と人から手紙をもらふ事が大好きである」と自ら記すほど、漱石は手紙好きだったことで知られています。この本では、文人や門下生たちとのやりとり、愛娘の日常、読者からの小説の感想など、終生手放さなかった絵はがきの数々が解説とともに紹介されています。

今年は漱石生誕150年。ゆかりの絵はがきを見ていると、あらためて漱石の作品を手にとってみたくなります。

児童書

『ワンダー』

R. J. パラシオ作 中井はるの訳／ほるぷ出版



生まれつき顔に障害はあるけれど、それ以外は普通の男の子、オーガスト。10歳になった年、初めて普通の学校に通うことになります。

最初はオーガストの顔に驚き、戸惑うクラスメイト達も、明るく面白い話が大好きなオーガストと接していくうちに少しずつ打ち解けていきます。

オーガストの視点だけでなく、家族やクラスメイトの視点からも描かれていく部分、オーガストの言葉にも注目したい一冊です

表紙

※編集後記※

2016年本屋大賞の『羊と鋼の森』（宮下奈都著）を、遅まきながら読みました。

登場人物達が、真摯な姿勢でピアノの調律に向き合う姿が印象的でした。主人公も、淡々とした感じで調律に向き合い成長していきます。2017年の大賞発表が楽しみです。